

故障スピーカーの活用法

2016.02.11/2022.07.06 改訂

トミー・マック

1. 背景

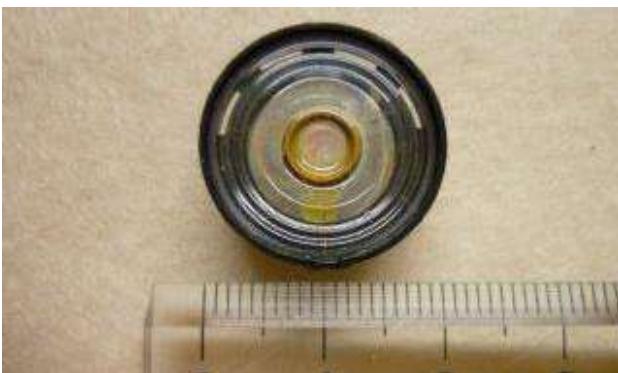
断線などしたスピーカーは廃棄することになります。しかしこのスピーカーには小型ながらも強い磁力を持った磁石で構成されています。何とかこれを活用できないと・・・。

ねじを締める時、ドライバーが着磁されていないあるいは磁力が弱いと、ねじが先端から落下し、作業し辛いことがあります。

そこで、この磁石を使ってねじを先端にくっつけようという算段です。

2. 構成

- 樹脂製の外殻
 - 磁気回路を構成する金属の円盤
 - 磁気回路を構成する金属の円柱を持った円盤。
 - コイルを接着した振動板
 - 磁石
- で構成されます。



3. 方法

(1) スピーカーを分解

使う道具は、壊れて良いニッパーと、カッターなどです。

- 樹脂製の外殻とコイルを接着した振動板をニッパーなどで分解切断します。
- 残った金属と磁石部には、上部に金属の円盤と、その下に磁石、底に金属の円柱を持った円盤があります。

(2) この金属と磁石部を3つに分解

- 上の金属の円盤は、下の磁石とボンドなどで接着されています。接着強度が弱いとカッターなどを接着面に差し込めば容易に剥がれますが、接着が強い場合は、溶剤（シンナーなど）で接着剤を軟化させれば容易に取れます。

カッターを使う際はくれぐれも手を切らないように注意してください。

- 底の金属の円柱を持った円盤も、同様に接着されていますので剥がします。
- これで磁石だけになりました。

故障スピーカーの活用法

4. 磁石の活用

- ドライバーの先端に差し込んで使います。
- ドライバーの先端に差し込み、往復させてドライバーに着磁します。
後は、磁石なしで使用できます。



終わり